

第6回地域回想法サミット

◆ 2019年11月16日(土)～17日(日)

◆ 宮崎市民プラザ 宮崎市橋通1丁目1-2
ギャラリー(16日) オルブライトホール(17日)

回想法は過去の懐かしい思い出を語り合うことで脳が刺激され、認知機能を改善することを目的とした心理療法です。認知症高齢者のリハビリのみならず、地域の高齢者に対する健康増進や介護予防の方策のひとつとして、また、子どもたちへの文化の伝承という教育的なツールとして地域づくりに応用されています。今回は回想法の分野で我が国を代表する諸氏の協力を得て、全国各地へ地域回想法を普及・定着させ、もって豊かな地域づくりに寄与することを目的としています。

16日 回想法研修会(有料)定員250名

大会長挨拶 細見 潤(医療法人ハートピア細見クリニック理事長・院長) 12:45～13:00

基調講演 13:00～14:00

「共生社会と回想法～回想法の歴史から～」

野村豊子氏 (日本福祉大学大学院 客員教授・リサーチフェロー)

教育講演 14:05～17:20

「園芸療法と回想法」 岩崎 寛氏 (千葉大学大学院園芸学研究科 准教授)

「アートと回想法」 林 容子氏 (一般社団法人アーツアライブ代表理事、アートマネージメントアドバイザー)

「音楽ケアと回想」 藤林明子氏 (Bunne Japan株式会社 チーフインストラクター)

ポスターセッション 17:30～18:30

座長 来島修志氏 市橋芳則氏 (ポスター発表の登録はHPをご覧ください)

※歓迎レセプション 19:30～

会場：宮崎観光ホテル
西館10Fスカイホール

※関連イベント「博物館で回想法」 10:00～11:00

ミュージアムトーク 市橋芳則氏 参加自由

会場：宮崎県総合博物館

17日 市民公開講座(無料)定員500名

特別講演 9:00～9:50

「豊かな高齢社会を目指して～回想法の応用と展望～」

遠藤英俊氏 (国立長寿医療研究センター老年内科部長・長寿医療研修センター長)

基調講演 9:50～10:40

「地域回想法を広げていくために～博福連携の事例を通して～」

市橋芳則氏 (北名古屋市歴史民俗資料館 館長)

シンポジウム 「地域回想法の実践事例を通して地域づくりを考える」 10:50～12:30

座長 来島修志氏 (日本福祉大学健康科学部 助教)

シンポジスト 小島恵美氏 (愛知県北名古屋市高齢福祉課 保健師)

大口勝由氏 (北名古屋市回想法スクール卒業生の会いきいき隊)

永森敏子氏 (富山県氷見市 ほっこり回想クラブひみ 代表理事)

松田ヒトミ氏 (医療法人ハートピア細見クリニック デイケア科長)

サミット宣言 来島修志氏

昭和8年 宮崎市橋通1丁目

主催 医療法人ハートピア細見クリニック

共催 公益財団法人宮崎文化振興協会

協力 宮崎県総合博物館 NPO法人シルバー総合研究所

後援 宮崎県 宮崎市 公益社団法人宮崎市郡医師会 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会



野村豊子(のむら・とよこ)氏



日本福祉大学大学院客員教授・リサーチフェロー

日本における回想法の第一人者であり、地域に注目し介護予防と回想法の取り組みを推進している。トロント大学社会福祉大学院修了。岩手県立大学社会福祉学部教授、東洋大学ライフデザイン学部 教授、日本福祉大学社会福祉学部教授などを経て現職。著書に『回想法とライフレビューその理論と技法』(中央法規出版)、『Q&Aでわかる回想法ハンドブック』(中央法規出版)、『ライフレビュー入門』(ミネルヴァ書房)、『高齢者とのコミュニケーション』(中央法規出版)他

岩崎 寛(いわさき・ゆたか)氏



千葉大学大学院園芸学研究科准教授・農学博士・認定登録園芸療法士

園芸療法やアロマセラピー、森林療法など「緑の療法的効果」に関する研究と、それらを実践する場である病院など「医療福祉機関における緑のあり方」や、地域住民の健康に寄与する「緑による地域ケア」に関する研究を行っている。千葉大学大学院看護学研究科災害看護プログラム兼務。

(一社)日本ガーデンセラピー協会理事、日本園芸療法学会理事、日本緑化工学会理事。

林 容子(はやし・ようこ)氏



アーツアライブ代表理事。尚美学園大学・大学院芸術情報研究科准教授。武蔵野美術大学、一ツ橋大学大学院講師。川崎市民ミュージアム運営評価委員、川崎市文化芸術振興委員等歴任。認知症当事者と家族の為のアートプログラム「ARTRIP」を構想、普及している。2013-2016年米国ケースウエスタンリザーブ大学医学部客員研究員としてアートが脳の高齢化に与える影響について研究。豊かな高齢化社会のためにアートが何ができるかについて日々研究、実践中。

藤林明子(ふじばやし・あきこ)氏



Bunne Japan株式会社チーフインストラクター

国立音楽大学卒業後、音楽教育にたずさわるなかで2013年ステン・ブンネが考案したBunne® Methodと出会う。現在日本国内を中心に教育・研修を統括。音楽ケアの実践者養成ほか、公式サークル主宰、ワークショップやレクチャーを通して、人と音楽とのボーダーレスな関わりをサポートしている。Bunne Japanとして舞浜倶楽部との編著に関わった書籍『楽器を使った楽しい認知症ケア スウェーデンのブンネ®メソッド』(メディア・ケアプラス)は、日本で初めてのブンネ解説本。

遠藤英俊(えんどう・ひでとし)氏



国立長寿医療研究センター老年内科部長・長寿医療研修センター長 医師

認知症専門医で様々な認知症予防プログラムの開発・研究を主宰し、特に回想法の標準化、地域への普及に尽力している。著者に『よくわかる認知症Q&A』(中央法規)、『地域回想法ハンドブック』(河出書房新社)、『最新 ボケない!“元気脳”のつくり方』(世界文化社)など多数。

市橋芳則(いちばし・よしのり)氏



北名古屋市歴史民俗資料館 館長・学芸員

昭和の日常的な暮らしを記録することに特化した「昭和日常博物館」をプランニング。昭和日常博物館は、ごくありふれた暮らしのなかで使われたモノに博物館として価値を加え、他に類を見ないコレクションを築き、展示、回想法を活用して高齢者向けサービスに力を入れる。著書に『昭和路地裏大博覧会』『昭和少年少女ときめき図鑑』など多数。

来島修志(きじま・しゅうじ)氏



日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻助教

作業療法士として認知症高齢者に対する作業療法・回想法の研究・実践を行い、北名古屋市思い出ふれあい事業に携わり、地域回想法導入計画・支援・回想法リーダーの養成に尽力する。日本作業療法士協会認定作業療法士・日本認知症ケア学会代議員・NPOシルバー総合研究所副理事長。

参加申込書について

メール、ファックス、葉書の何れかで下記を明記しお申込み下さい。

◎ 参加希望 (①~③の参加番号をご記入下さい。後日ご連絡いたします。)

16日 ①教育講演(参加費5,000円) ②懇親会(参加費5,000円)

17日 ③市民公開講座

◎ 参加者の連絡先

住所、氏名、電話番号、メールアドレス、職種(一般の方は一般と記入)

申込み先

〒880-0001 宮崎市橘通西1丁目5-3 ハートピア細見クリニック

地域回想法サミット in 宮崎

<TEL>0985-35-1100 <Fax>0985-38-1711 <E-mail>heartopia@poppy.ocn.ne.jp

<ホームページ> <http://www.hosomicl.sakura.ne.jp/>